

授業改善プラン

地域名	東葛飾教育事務所	学校名	鎌ヶ谷市立初富小学校
-----	----------	-----	------------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 令和6年度全国学力・学習状況調査や鎌ヶ谷市の学力調査の算数科における正答率は、昨年度と同様に県及び市の平均を下回る結果となった。どの領域においても課題はあるが、特に「体積の求め方」「データの活用」の領域が全国平均を大きく下回っていた。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 一人一人が考えをもてるように発問を工夫することで、主体的に課題解決する児童になるだろう

3. 具体的な実践

- 授業改善に関する実践
 - ① 『『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』の活用
 - ② 児童の実態や授業の目的に合った発問の工夫
- 授業外に関する取り組み
 - ・全職員による学力調査の誤答分析会の実施 ・授業研究会指導案検討 ・ノート指導
 - ・放課後算数教室の実施（月2回） ・相互授業参観の実施 ・家庭学習の推進

4. 成果

- 発問を工夫することで、一人一人が考えをもてるようになった。
- 一人一人が考えをもつようになると、「自分で取り組む」や「広げ深める」のときに活発に考えたり、話し合ったりするようになり、主体的な学びが見られるようになった。
- 生徒指導の実践上の四つの視点を意識した授業を行うことにもつながった。

◆担当指導主事から

- 全国学力・学習状況調査等の結果に基づいて児童の実態を丁寧に分析し、全職員で学力向上や授業改善に取り組んでいる。今年度は、児童が主体的に学ぶことができるようにするために「見いだす場面における発問」に着目し研究を進めてきた。児童が主語となる授業づくりを行ってきた結果、児童の主体性が大きく向上した。